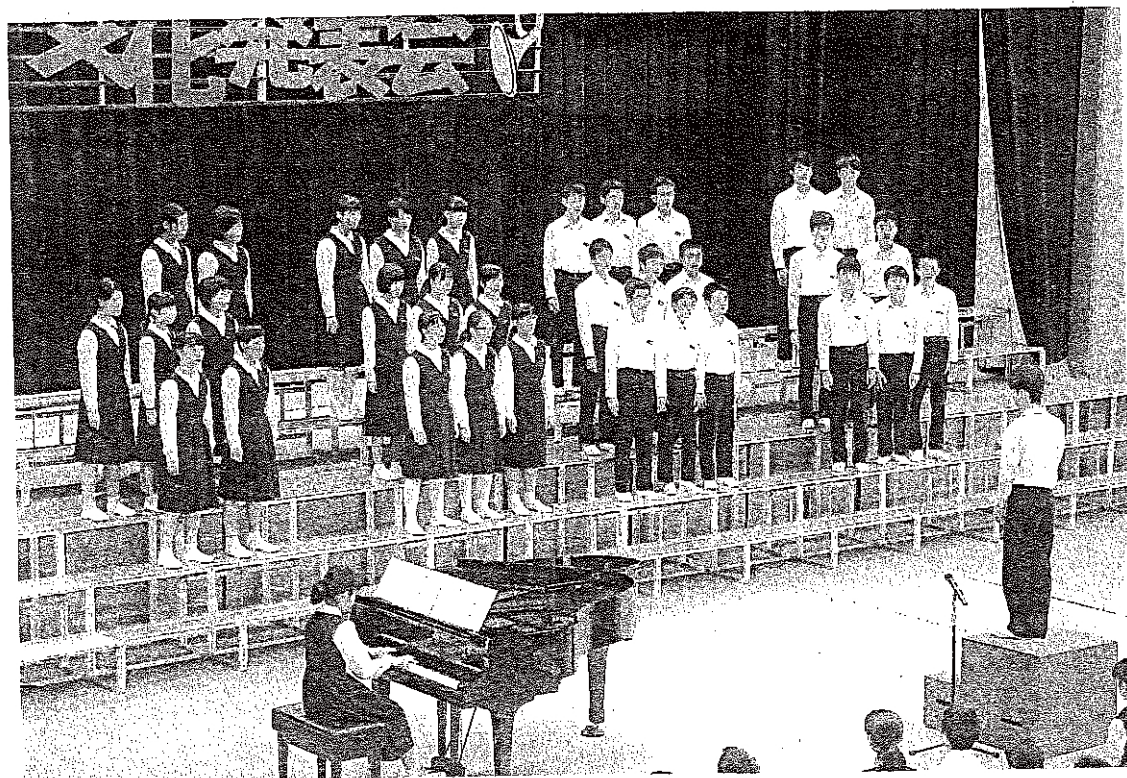




最後となっていく行事

3組

みんなと一緒に歌う、そんなことはもう卒業までない。そう思うと「頑張らねば」「悔いを残さないようにしなきゃ」と初めから全力を出した。それよりも、もうこのメンバーでいられるのもあと何日だろうと思う日もある。そんな3年生のクラスの声はすごく大きく、皆成長しているのだと思った。2年生も結構大きくキレイな声で歌っていたため、朝中の合唱を僕は上手く引き継いだかは分からないが、上手く引き継いでくれそうだった。1年生の合唱は、ここからとってもうまくなる。まだスタートで、僕らもここからだったのだと思った。僕らは優秀賞だったが、とても良い文化発表会だったと思った。

いつもと違う取り組み方

3組

私は1年生のときも、2年生のときも優秀賞のことを意識して練習したり歌ったりしていました。だから今年「賞のことは考えずに歌え」って言われてとても新鮮な感じがしました。いつもだったら、優秀賞をとるために頑張って練習していたけど、この言葉があったので、みんなと歌える数少ない機会を大切にしようと思ったので、最初の練習から全力で取り組むことができたと思います。でも、いざクラスで合わせるってなると、他のパートにつられて思うように歌えなかったり、山口先生にも「饅頭の中の餡がない」って言われたりして大変だなと思いました。だから初めて家でCDを流しながら自主練をしました。そのおかげで他の学年の時より、自信を持って歌うことができました。あと、パートリーダーの人達が工夫して練習をしてくれたおかげもあったと思います。本当に、パートリーダーの人たちと文化発表会を運営してくれた委員の人達に感謝しないと思いました。あと、プレッシャーの中、クラスを支えてくれた指揮者・伴奏者の人にも感謝したいです。

